

## 「永野小学校の秋津舞伝承活動の取組」

### 1 学校名

さつま町立永野小学校

### 2 学年・人数

5年生6人，6年生4人（中学生9人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

毎年8月～9月の火曜日と木曜日の19：00～20：00  
永野交流館，永野小学校体育館及び校庭，南方神社

#### (2) 発表の日時・場所

例年9月第3日曜日午前中（南方神社例大祭奉納）  
例年9月第4日曜日午前中（永野小学校運動会）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

秋津舞（あけすめろ）

#### (2) 由来

島津義弘公が1597（慶応2）年に豊臣秀吉の朝鮮再出兵に際し出陣し，敵の援軍を破り，薩摩隼人の勇名をとどろかせて凱旋した。その凱旋を記念すると共に将兵の士気を鼓舞するため踊りが伝えられたという。

#### (3) 構成等

秋津舞は，入れ太鼓，鉦，太鼓で踊りの組を編成し，勢揃い，出陣，攻撃，凱旋，それぞれを隊形を変えながら激しくおどる太鼓踊りである。

### 5 保存会や地域との連携の具体

永野の岩元集落は古くから踊り継がれてきたこの貴重な文化財をなんとかして保存しようと伝承活動に努力しており，永野小学校の5・6年生の児童と中学1・2年生生徒が岩元集落の保存会員の熱心な指導を受けている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

永野小学校の5年生以上の児童による文化財少年団が結成され，岩元集落の保存会員の熱心な指導と永野校区や保護者の協力により，児童達がきめ細かい指導を受けている。また，児童数が減少する中，この協力体制により伝承が続いており，郷土教育と子供の健全育成にも役立ち，校区民から広く感銘を受けている。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）

### (1) 練習の様子



【練習第1回 秋津舞及び練習についての概要説明】



【体育館での練習】



【保護者と共に太鼓の組立作業】



衣装を着けての校庭での練習(中庭合間)

### (2) 南方神社奉納の様子



【南方神社までの移動の様子】



【奉納時の様子】

### (3) 永野小学校・永野区運動会の様子



【運動会での発表の様子】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

(保護者)

子供たちは夏休みから練習を始め、運動会、例大祭に向けて毎週火曜・木曜の夜7時から8時まで永野区交流館や永野小学校で汗をかくほど練習をがんばっています。6年生の学級委員長は練習時のお茶当番を決め、5、6年生の保護者が交代で麦茶やお菓子を準備します。奉納が行われる南方神社大祭の1週間前には、全会員と子供たちで、神社の境内や参道の清掃を行っています。それから、衣装の着付けも地域の方の助けをもらいながら保護者が我が子の衣装の着付けをしています。このように、子供たちが頑張るから地域の方々に応援していただける秋津舞です。師匠さんや地域のいろいろな方々の協力・指導を頂きながら、地域の伝統文化に参加でき、地域への思いを深めることができるなど、様々なことを学び、たくさんの方々と触れ合うことができました。また、真剣に秋津舞に向き合う子供たちの姿を見て我が子の成長を感じることができたり、着付けや飾り付けを他の学年の保護者と一緒に行う中で、連帯感が生まれてきたりしました。